

あおもりアースレンジャー活動報告書（23年度上期）

平成23年10月13日
八戸市 溝江 康徳

環境政策課長 殿

活動内容を次のとおり報告いたします。

1. 研修会等への出席

項目	期日・会場等	内容
1. 「太陽光発電何でも相談会」（山匠電気主催）	・平成23年4月23日 10:30~11:30 ・八戸市 eco room SUN	(1) 停電時の太陽光発電の状況 (2) 料理教室の予定等 *大震災時でも発電可能な実態の把握
2. 八戸市環境学習会補助員説明会（八戸市環境政策課主催）	・平成23年5月9日 10:00~12:00 八戸市庁別館会議室	(1) 出席の19名の補助員自己紹介 (2) 環境学習会補助員の活動紹介 (3) キャンドル作り及びCODバックテストの体験 (4) 希望調査表の提出 *第1回目から活動し本年度で5回目
3. 第37回県境不法投棄現場現状回復対策協議会（県環境生活部県境再生対策室主催）	・平成23年5月14日 13:30~15:30 ・青森市 アスバム	(1) 廃棄物の撤去実績 (2) 塵コンデンサの確認と今後の対応(3) (3) 処理施設との契約状況 (4) 環境再生計画の推進 *試験植樹の状況について質問 (5) 県境発・環境再生啓発事業 *田子町外の学校に見学等拡大を要望 (6) 現状回復対策事業完了に向けた検討課題
4. エネルギー特別講演会（NPO法人循環型社会創造ネットワーク「CROSS」主催）	・平成23年6月15日 13:00~15:30 ・八戸 シーガルビューホテル	(1) 演題「地域エネルギーの活用方法」 講師 八戸工業大学 野田英彦教授 (2) 演題「省エネ手法」 講師 財団法人省エネルギーセンター - 安藤政之
5. 八戸市環境審議会（八戸市環境政策課主催）	・平成23年6月21日	・ 東日本大震災対応のため延期
6. 八戸市エコツアー（八戸市環境政策課主催）	・平成23年6月24日 8:30~12:10 ・八戸市内2ヶ所	(1) 八戸リサイクルプラザ（見学及びエコ・キャンドル作りの体験活動） *分別のマナーの悪さ痛感 (2) 佐々木創業館バイオ・リサイクル施設 *スーパーからの出る生ゴミ処理



		良質の堆肥づくり 1日14.7t処理
8. 暮らしサンフェア（山匠電気1周年記念）	・平成23年7月 3日 10:00~11:30 ・八戸市 eco room SUN	(1) 節電家電（エアコン・冷蔵庫等） (2) 家庭・オフィスでできる節電方法 (3) ヒートポンプ (4) 最新LED照明器具等説明受ける *節電家電中心に質疑する
7. 平成23年度アースレンジャー推進員研修会（県環境パートナーシップセンター主催）	・平成23年7月 2日 10:00~14:40 ・青森県庁	(1) 県内地球温暖化対策推進計画 (2) 農業高校の環境活動対策 (3) 環境家計簿の効果と利用方法 *環境家計簿への関心大、実践意欲大
9. 第38回県境不法投棄現場現状回復対策推進協議会（県環境生活部県境再生対策室主催）	・平成23年7月23日 13:30~15:30 ・八戸市 ユートリー	(1) 廃棄物の撤去実績 (2) 廃コンデンサの確認と対応 (3) 侵出水貯留量の増減に伴う掘削・搬出の休止と再開 (4) 試験植樹の実施とモニタリング記録 *施肥無の理由、ヤシチューブ等質問 (5) 国への財政支援要望 *国に要望している県数や連携策確認 (6) 県境部の表流水・地下水管理
10. コープ環境学習会（コープあおもり主催）	・平成23年8月24日 10:00~11:40 ・コープあおもり類家店	○ 新しい公共による家庭の環境配慮行動促進モデル事業説明会 (1) 事業概要の説明 (2) 家庭のECOアクション講座 (3) ECOアクション促進ツールの使い方 (4) 質疑応答・アンケート記入 *冬の暖房器具(エアコンとストーブ)比較提案
11. 八戸市廃棄物減量等推進審議会（八戸市環境政策課主催）	・平成23年8月24日 14:00~16:30 ・八戸市公民館会議室	(1) 八戸市のごみ処理の現状 *八戸市の課題（生活系）解決策要望 *一日一人当りの次の目標設定要望 (2) 一般廃棄物処理基本計画の改訂 *用語の統一性と簡易化の提案 *リサイクル率向上策等質問 (3) 新処分施設整備事業の進捗状況 *総工事費の見込み額等質問 (4) 災害ごみの現状と処理状況 *県内市町村の協力の申し出等質問
12. 環境教育サポーターのための「県環境出前講座受講体験会」（県環境政策課主催）	・平成23年8月27日 13:30~16:00 八戸市福祉公民館	(1) 買い物ゲーム（70分）の受講体験 (2) 省エネゲーム（70分）の受講体験 *進行シナリオの再確認、NPO法人CROSSの先生役が先生以上に上手いのに驚く
13. 原子燃料サイクルモニター会議（県原子力立地	・平成23年9月14日 13:30~16:00	(1) 講演「放射線の人体への影響」 講師（株）放射線医学総合研究所 理事 明石 真言

<p>対策課主催)</p>	<p>・青森市クラウンパレス</p>	<p>*風評被害防止のための放射線教育の充実策について質問 (2) 原子燃料サイクル施設と安全対策 ①資源エネルギー庁 核燃料サイクル産業立地対策室長 佐野 俊 ②原子力安全・保安院 地域原子力安全総括管理官 新井 憲一 (3) 原子燃料サイクル事業の現状 ・日本原燃協 広報・地域交流室部長 山崎 繁 (4) 東通原子力発電所の現状 ・東北電力㈱ 東通原子力発電所副所長 青木 宏昭し (5) 県の原子力行政について ・県原子力立地対策課 広報企画グループマネージャー 戸沼 康弘</p>
<p>14. 第39回県境不法投棄現場現状回復対策推進協議会(県環境生活部県境再生対策室主催)</p>	<p>・平成23年9月24日 10:30~16:30 ・八戸市ユートリー及び田子町</p>	<p>(1)協議会 ①廃棄物の撤去実績 ②環境モニタリング調査中間報告 ③試験植樹調査結果と秋の試験植樹 *ヤンチャウ埋設の効果、試験植樹の状況、生育なしの理由等 ④産廃特措法延長要望の動向 *新聞報道について質問 ⑤県境部地下水調査関係両県打合せ ⑥侵出水貯留量増加への対応 (2)視察 ①一時貯留池 ②試験植樹等</p>
<p>15. 八戸市環境展“八戸市環境フェスタ2011”(八戸市主催)</p>	<p>・平成23年9月25日 10:00~16:00 ・八戸市 公会堂</p>	<p>(1) ごみの減量・リサイクルコーナー (2) 環境学習会等の紹介コーナー (3) 不法投棄対策コーナー (4) 下水道事業コーナー (5) 生活排水対策コーナー等見学&質疑 (6) ~エコについて考えよう~ 講演「今こそ!省エネルギー講座」 講師:(財)省エネルギーセンター 市川昭彦 *暖房用エアコンと給湯ストーブの比較(CO₂排出量と暖房費)質問</p>

II. 授業

<p>1. 八戸市立旭ヶ丘小学校 4学年(90名)親子環境学習会</p>	<p>・平成23年6月30日 14:00~15:00(給13:15) ・旭ヶ丘小学校体育館</p>	<p>(1) 廃棄物(ごみ)減量のための家庭ごみの分別についてクイズ形式の話 (2) 使用済みてんぷら油からエコキャンドルを作る(9グループのうちの1グループの補助担当) *家庭の実践上親子での学習がベスト</p>
<p>2. 八戸市立田面木小学校 4学年(45名)水辺の学校環境学習会</p>	<p>・平成23年8月29日 9:00~11:30(給8:45) ・馬淵川水辺の学校</p>	<p>(1) 水中の生き物の観察・捕獲方法等の説明後、グループ毎に観察・捕獲活動 (2) グループ毎に付近に成育する魚等について説明 ・グループ活動の安全面の監視等補助</p>

<p>3. 八戸市立青潮小学校4 学年2クラス(70名) 県環境出前講座</p>	<p>・平成23年9月 5日 10:30~12:05 ・青潮小学校ワークスペース</p>	<p>(1) 「買物ゲーム」の補助 ・スーパーのレジ係担当 ・グループの買物等の補助 *初めての補助活動で反省多くあり・ 次回に生かしたい</p>
--	--	---

III. その他

<p>1. 22年度下期報告書提出</p>	<p>・平成23年4月 1日</p>	<p>・県環境政策課へ郵送(13ページ)</p>
<p>2. 八戸市立函南小学校4 学年PTAより授業依頼 を受ける</p>	<p>・平成23年5月19日</p>	<p>・7月4日参観日の午後2時間(5~6 時間目)エコキャンドル作りの依頼 を受けたが、現県センター&前センタ ーに確認したが、材料の在庫がなく断 る</p>
<p>3. 環境月間始まる</p>	<p>・平成23年6月 1日 9:30~11:00 ・八戸市立図書館</p>	<p>・八戸市立図書館に出向き、特別展示し ている環境関連図書について調べる</p>
<p>4. 世界環境デー</p>	<p>・平成23年6月 5日</p>	<p>・自分の身の回りのエコ活動の見直し</p>
<p>5. エコツアー&段ボール コンポストモニター申込</p>	<p>・平成23年5月23日 11:00~11:30 ・八戸市庁環境政策課</p>	<p>・毎年参加・実践の両者に今回も応募</p>
<p>6. 八戸市廃棄物減量等推 進審議会公募申込み</p>	<p>・平成23年6月27日</p>	<p>・八戸市環境政策課に持参</p>
<p>7. 県不法投棄現場現状回 復対策推進協議会公募応 募申込み</p>	<p>・平成23年6月29日</p>	<p>・県環境生活部県境再生対策室へ郵送</p>
<p>8. 段ボールコンポストモ ニターセット受領</p>	<p>・平成23年7月 8日 10:30~11:00 市環境課</p>	<p>・翌7月9日より段ボールコンポストモ ニター実践活動スタート</p>
<p>9. 新しい公共による家庭 の環境配慮行動促進モデ ル事業申込み</p>	<p>・平成23年7月14日</p>	<p>・コープ県本部に郵送</p>
<p>10. 八戸市立函南小学校P TA広報発行</p>	<p>・平成23年7月19日</p>	<p>・昨年度末実施の「うちエコ診断」の記事掲載(P6参照)</p>
<p>11. 「家庭における夏の節 電体験」開始</p>	<p>・平成23年8月 1日</p>	<p>・8~9月の2ヶ月間の節電体験</p>
<p>12. うちエコ診断員養成研</p>	<p>・平成23年8月26日~27日</p>	<p>・直前になりパソコン操作能力の不備に</p>

<p>修会</p> <p>13. 「家庭における夏の節電体験」応募用紙提出</p>	<p>・ 仙台市</p> <p>・ 平成23年9月30日 9:30~9:45 AF#CROSS</p>	<p>より欠席</p> <p>・ MPO法人環境型社会創造ネットワーク(CROSS)に持参提出(P7~9参照)</p>
---	---	---

エコ・クッキング

1日に数回、誰もがかわる「食」「買い物」「料理」「片づけ」を通して、私たちにできることを一緒に考えて、実践してみましょう!

《買い物編》

●ゴミになるもの買ってない?

買い物に行くときは、マイバックを持って、必要のないものはお断り。捨てるときには、分別しようね。袋入りやパック入りはゴミを増やしてしまいます。できればかご入りなどを買きましょう。「旬」のものを選ぶよ!夏が旬のトマトを冬に温室でつくと10倍以上のエネルギーが必要なんだよ。旬のものを買って、エコライフへ一歩前進しよう!

《料理編》

●たくさんゴミを出してない?

家庭ゴミの約半分が生ごみなんだ。この中にはまだ食べられるのに捨てられているものがたくさんあるんだ。ゴミを減らす工夫をしてみよう。コンロを上手に使おう。炎をなべ底からはみださない!二酸化炭素を減らすことができるよ!

《片づけ編》

●水を大切に使う!

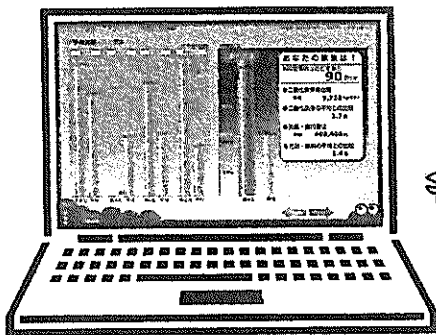
ごちそうさまの後には、きちんと後片付けをしようね。お皿を洗うときには水を大切に使う。ゴミも上手に捨てようね。お皿に残った大さじ一杯のマヨネーズを流すと、魚が住めるくらいきれいにするには、浴そう13杯(約3,900リットル)もの水が必要なんだよ。水を大切に使うって汚さないようにしようね。油汚れの食器は重ねない。洗う前に汚れをふき取る。ゆで汁を利用しよう。毛糸のスポンジなどは、水やお湯でも汚れは落ちる。

【ポテトチップスのオムレツ】

材 料 (直径 15 cm 1枚分)

たまねぎ	1/2 コ
ピーマン	1 コ
赤ピーマン (大)	1/4 コ
ウィンナーソーセージ	2本
オリーブ油	大さじ1
卵	5コ
ポテトチップス	35グラム
塩・こしょう	少々

- 1 たまねぎは薄切り、ピーマンは小角切り。ウィンナーソーセージは小口切りに。
- 2 フライパンにオリーブ油を熱し、たまねぎを炒めます。しんなりしたらピーマンとウィンナーソーセージを軽く炒めて火を止め、蓋をして蒸らします。
- 3 ボウルに卵を割りほぐし、ポテトチップスと粗熱を取った2を加えて10分位おきます。ポテトチップスがしんなりしたら、塩こしょうを加えます。
- 4 2で使ったフライパンにオリーブ油を熱し、3を加えて菜箸で混ぜます。半熟状になったら蓋をして弱火で焼きます。
- 5 4を裏返して更に焼きます。



べんたん

皆さんも住宅エコ診断を受けてみませんか?

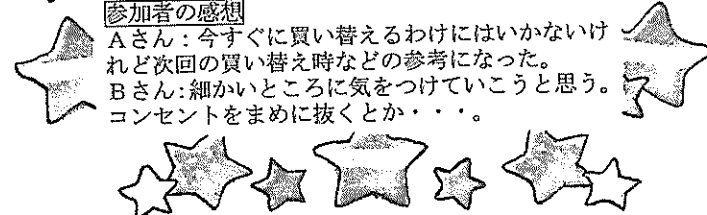


2011年1月23日 長者公民館において住宅エコ診断をしていただきました。

講師は溝江先生の他に4名、ECO青森相談員の方々です。八戸では第1回目の診断となります。エネルギーの無駄をなくする。自分たちの暮らしのあり方を身近なところから、見つめ直すというのが目的です。診断希望者1名に対して1人のアドバイザーがつき、事前に配布した調査票に基づいてパソコンに入力し、20分ほどで結果がでます。あなたの世帯が100世帯中、エコ度が何位なのか診断されます。平均と比較でき、CO2の排出量が最も多いところがわかります。結果を受けて、CO2の排出量を減らすための具体的な方法、対策をアドバイザーが提案していただきます。対策をとった場合の順位もわかります。溝江先生は、エアコンでの暖房をおすすめしています。床置きで(10万円台)、全体を暖めることができます。

参加者の感想

Aさん:今すぐ買い替えるわけにはいかないけれど次回の買い替え時などの参考になった。
Bさん:細かいところに気をつけていこうと思う。コンセントをまめに抜くとか・・・。



あなたのうちは何位?

「うちエコ診断ソフト」であなたの家庭のCO2が「どこから」「どれだけ」出ていて、青森県平均で100世帯中、何位かがわかります。

エコプランをご提案

あなたの家庭に合った省エネプランをご提案。ヒートポンプや太陽光発電など、購入シュミレーションでいつごろ「もと」がとれるかもわかります。

「うちエコ青森相談員」

うちエコ研修を受け、認定された相談員が個別にアドバイス。削減実感できるエコと一緒に考えます。



節電体験応募用紙

●あなたのご家庭で、概ね8月から9月にかけて、節電のために工夫して取り組んだこと、家族で協力して取り組んだことなどを記入してください。(いくつでもかまいません。) 例)南窓に緑のカーテンを設置した、テレビは予め番組を決めて見た、家族全員が10時には就寝した、など。

また、取組によって電気料金が下がった、家族がみんな取り組んでくれるようになったなど、あなたのご家庭にとってのメリットも併せて記入してください。

◎節電のために工夫して取り組んだこと

1. 新聞掲載の「東北電力電気予報」「予想気温」を毎朝記録し、節電意識を強固にする(別紙)
2. 電力供給の逼迫期間新聞記事と併せて、1同様節電意識を喚起する(別紙)
3. エアコンを使用しない(①グリーンカーテン②エロースの内窓取り付け③家中の風の通り道を確保(保冷剤利用))
4. 冷蔵庫の節電(①の設定温度を強めに②冷蔵庫内の整理③壁の離す④ドアの開閉)
5. テレビの節電(①の見る時間を減らす②省エネモードに設定③画面の輝度を下げる)
6. 照明の節電(①の昼間照明を消す②LED電球に交換③風呂場、門灯、縁側、HIL)

7. 洗濯の節電(①の電力使用多い9~20時を避け早朝に洗濯②回数削減③風呂の残湯で)
8. スムージーはほうきで。最後のゴミ処理日に乾燥機使用
9. 電気釜でごはん炊かず、電子レンジで炊飯。
10. 温水便座のスイッチを切り、使用時スイッチ。
11. コードをプラグから抜く(①エアコン②炊飯器等)
12. 大掃除をビルを缶ロビンに。(印刷 番電利用)

◎我が家の節電メリット

1. 従来の生活スタイルの見直しを図るようになる(電気代削減)
2. これまでの生活に無駄が多かったのが気付けられる(無駄な消費意識の再確認)
3. 多くの本を静かに読むことが出来た
4. 家族との会話が増える
5. 取組み大よんで電気料金が下がる

●電力会社が発行した8月分と9月分の検針票(電気ご使用量のお知らせ)に記載されてある電気使用量を記入してください。なお、電力使用量は参考とするもので、優秀取組事例や抽選には直接影響しません。

	8月分		9月分	
	使用日数	電気使用量(kWh)	使用日数	電気使用量(kWh)
今年	30日間	298 kWh	28日間	294 kWh
昨年	30日間	357 kWh	28日間	326 kWh

※昨年は、今年の検針票に記載されています。

ご住所	〒		
ふりがな 家族の代表者氏名	みぞえ やす のり 溝江 康徳	電話番号	
家族構成 (同居家族)	本人及び妻(孫数回孫と連れ娘夫婦が宿泊)		計 2 名
住居形態 (○で囲む)	<input checked="" type="radio"/> 戸建て <input type="radio"/> 集合住宅		

電気予報及び予想気温 (「備考」は節電関連記事から)

8 月				9 月			
日	電気予報(%)	予想気温(℃)	備考	日	電気予報(%)	予想気温(℃)	備考
1	89.7	18~23		1	㊟95.1	22~28	(美南線の節電努力)
2	87.7	17~24		2	92.2	21~29	八戸 電力使用制限令終了
3	89.2	19~26		3	87.1	23~30	(八戸水産工場節電克服)
4	93.4	20~26		4	90.8	22~28	(節電の夏を次に生かせ)
5	93.2	21~28	使用97%予備率3.5%	5	93.2	22~26	使用率 瞬間的に97%超
6	93.7	21~29	東京電力50万kW融通	6	91.3	22~27	(政府、今冬制限令回避)
7	92.4	22~28	ピーク時 94.3%	7	90.3	17~26	
8	㊟96.2	21~28	(「見える化」ポスター)	8	88.8	21~30	(節電更乗り越えた理由)
9	㊟95.9	21~29	使用量更新予備率4.5%	9	90.6	20~27	東北電力電力制限令終了 関東電力16%・東北21% 節電
10	㊟95.8	23~34		10	83.8	21~26	
11	㊟95.1	26~34		11	86.0	18~23	東北電力供給予備率 ^{マイナス} 一見込
12	㊟95.3	25~33	八戸 33.4℃	12	休刊日	休刊日	
13	88.2	22~29		13	92.5	19~22	使用率94% 東京電力 より70万kW融通受く (東京D自家発電常設)
14	90.6	24~32		14	94.7	17~25	
15	休刊日	休刊日		15	94.7	18~26	(韓国強制停電で大停電)
16	93.4	25~31	(冬の節電商戦開始)	16	㊟95.1	20~30	八戸 32.6℃
17	94.8	25~27	東電使用率 初90%	17	89.8	22~26	(節電ゲーム機相次ぐ)
18	㊟95.2	22~26	使用率 92%	18	93.6	21~26	真夏日 使用率96.4%
19	91.4	19~25	18日東京電力最大需要	19	93.7	15~17	(電気を賢く節約せよ)
20	87.9	18~26		20	89.2	14~16	
21	84.6	19~23		21	88.9	13~17	
22	83.1	19~22	山形市鶴岡市34.8℃	22	86.3	15~20	
23	88.7	20~22		23	91.1	14~19	
24	92.7	20~26	東北電力冬電力不足見通し	24	91.2	12~21	
25	92.5	20~24		25	85.8	11~22	
26	90.1	19~26	(火力再稼働、来夏困難)	26	87.9	12~22	(東京電力・今夏節電実績 発表 前年を18%、大口 29%・小口19%・家庭 6%節電)
27	86.7	19~26	(東電電力制限令解除検討)	27	88.3	11~22	(公共施設の節電継続希望)
28	85.8	18~26	(ウォームビズはや商戦)	28	88.3	12~22	
29	90.4	18~26	(自家発電で電力下支え)	29	87.5	11~22	熱中症の危険・節電の限界
30	92.4	18~27		30	87.0	13~18	
31	93.3	19~29	(政府、節電要請続行)				

電力使用率(㊟)警戒 97%超 0日、㊟不安 95%以上~97%以下、8日 ㊟やや不安 90%以上~95%未満、27日 ㊟やや余裕 90%未満、24日
真夏日2日

東電から30万キロ融通

東北電力は16日、お題を受けると発表し、翌に午う泊用の使用増益明けて企業活動が再た。17日さらに追加で電力融通が想定を上回し、電力供給が逼迫する恐れがあるとして、17日かんでおり、融通は最大で計60万キロとなる見通し。東北電力が東電から融通を受けるのは18日以後。

東北電力の予想による。17日の最大電力需要は午後2時から同3時までの1150万キロ。60万キロの融通を確保し、ピーク時の最大供給力を1213万キロにする。計画停電を回避する。

東北電力は、東日本大震災や7月の新潟、福島両県の豪雨で多数の発電所が損壊。気温の上昇を受けての18日以降。

東北電力、企業活動再開で

東北電管内で需給逼迫

電力予備率2.2%に
東北電力は16日、管内の需給逼迫が深刻化していることを示す予備率が同日午後2時30分、安定供給の指標とされる0.8%を大きく割り込む2.8%と大幅に低下したと明らかにした。

東北電力は16日、管内の需給逼迫が深刻化していることを示す予備率が同日午後2時30分、安定供給の指標とされる0.8%を大きく割り込む2.8%と大幅に低下したと明らかにした。

東電から緊急融通

50万キロ追加使用率95%
東北電力管内で6日、最大の追加融通を東京電力から受けた。4日から8万キロに達し、供給に東京電力から30万キロ1158万キロに達した。この追加融通を受けて、2日連続で自前管内の使用量をまかなえない事態となった。

東北電力によると、この日は最大需要が1080万キロと予想していた。ところが、気温の上昇して増加が見込まれたため、50万キロの追加融通を受け、1208万キロの供給力を確保した。

当初の供給力に対する電力使用率は99.1%で、追加の融通分を含めた供給力に対する使用率は95.0%となった。追加融通を受けなかった5日の使用率は97.7%だった。

東北電力は、日曜日の7日に電力融通を受けないが、明けの8日から再び、東電から30万キロの供給を受けると見られる。

東北電へ110万キロ融通

東北電力の8日の最大電力使用量は、気温の上昇に伴い今夏最高の1230万キロ(午後2時台)となった。同電力は同日、東京電力に2度追加融通を要請し、電力不足を回避した。

この日は最高気温が32度後半と見込まれたことか

東北電力の8日の最大電力使用量は、気温の上昇に伴い今夏最高の1230万キロ(午後2時台)となった。同電力は同日、東京電力に2度追加融通を要請し、電力不足を回避した。

この日は最高気温が32度後半と見込まれたことか

東北電 使用率94.3%

ピーク時 東電から融通受けず
東北電力の最大電力供給力を受けた東北電力の電力使用率は7日ピーク時で94.3%だった。同社はこの日、6日まで3日間連続で行われた東京電力からの電力融通を受けず、自社発電だけでまかなった。

7日は設備補修で停止していた常盤共同火力勿来発電所8号機(福島県いわき市)が運転を再開し、供給力を確保している。

東北電、使用量を更新

東北電の拡大融通枠を活用へ
電力供給の逼迫が続いている東北電力は9日、この日の管内の最大電力使用量は1247万キロで、2日連続で今夏最高を更新したと発表した。東京電力が

冬の電力「かなり不足」

東北電力の藤下和夫常務は24日、仙台市の本店で記者会見し、今冬の電力供給について「かなり不足する」との見通しを示した。

震災で東北電力が太平洋沿岸の3火力発電所が被災、原発が運転停止するなど、需給が逼迫している。

7月の豪雨では新潟、福島県内の水力発電所が被災し、計約100万キロの供給力が失われている。会見で、計28万キロ分の水力発電所は復旧に半年以上かかり、今冬に間に合わないことも明らかにした。

東北電力は火力発電所の復旧など供給力の確保に取り組んでいるが、夏場は東京電力から電力の融通を受けて乗り切っている。今後、東電から電力融通がないと「かなり厳しい状況になる」と(藤下常務)という。